

開催日:2024年12月15日(日) 18:00~20:30

Zoomによるオンライン会

テーマ:「群馬から学生の力で走らせるクルマ

参加者 22名(2ページ参照)

～群馬大学学生フォーミュラチーム GUFT」

今回は現役学生の登場で、学生フォーミュラの概要とその意義、そして群馬大学学生フォーミュラチーム(GUFT)の活動紹介をGUFTの代表 金子さんが話してくれた。



GUFT: Gunma University formula Team

学生フォーミュラは、学生が設計・製作したマシンで物作りの総合力を競う大会であり、単に車を速く走らせるだけでなく、プレゼンテーション能力やコスト管理、チームワークなども重要な審査項目であることが紹介された。

大会の審査項目は大きく分けて、**車両検査**、**静的審査**、**動的審査**の3つ。車両検査では、安全性や技術的な適合性が確認され、静的審査では、車両設計やコストの妥当性、技術的な特徴を企業の審査員にプレゼンすることが求められる。

動的審査では、実際にマシンを走らせ、加速やコーナリング性能、エンデュランスなどの走行性能を競う。

金子さんは、群馬大学フォーミュラチームがこれらの審査を通じて成長できる点を強調し、実際の車両製作における挑戦や、企業と連携することの重要性を語った。また、学生フォーミュラ大会が自動車産業の発展に貢献し、将来の技術者やリーダーを育成する場であることを説明した。

懇談会では、学生フォーミュラ活動が実社会で必要とされる多くのスキルを養う貴重な機会であることが再確認された。参加者からは、技術的な知識だけでなく、実際の企業活動において求められる様々な能力を身につける点について賛辞が寄せられた。

特に、限られたリソースでプロジェクトを進める過程で得られる**プロジェクトマネジメント**スキルが強調された。チームメンバーと協力しながら、設計から製作、テストまでの進行を管理し、計画的に問題解決を図る力が養われる。これらは、実際の企業での業務やプロジェクト管理に直結する経験であり、参加者たちはその重要性を実感していた。

また、**コスト管理**や**効率化**を考える力も大きなポイント。車両の製作には大きなコストがかかるため、どこに予算を割くべきか、どの部分を効率化するかを考える経験は、ビジネスの現場で非常に有用である。実際に車両の製作コストを計算し、どの技術や部品に投資するかを決める過程で、ビジネス的な視点を磨くことができる。

さらに、審査員に対する**プレゼンテーション**では、技術的な説明だけでなく、市場における競争力や社会的な影響をどのように伝えるかも重要な要素である。これにより、効果的なコミュニケーション力や説得力が養われ、将来的には企業でのプレゼンテーションや交渉の場でも活かせるスキルを身につけることができる。

このように、学生フォーミュラは単なる技術的な競技ではなく、将来のキャリアに直接役立つ多様なスキルを養う貴重な活動であることが再確認され、参加者たちはその意義を深く理解することができた。



金子慎之介



参加者

阿部桂三	46S 修	三重		荒居正和	39S	愛知
吉平弘一	50C	愛知		荒井武雄	46C 修	佐野
清水堪藏	49C	愛知		倉林弘行	44C	平塚
佐野武司	62W	三重		有北周平	56K 修	和歌山
中村洋祐	54C 修	四国		麻生信之	53W	川越
窪田健一	46S 修	三重		中村啓夫	48M 修	茨城
阿部雅信	47C 修	愛知		奥山幸生	52E	愛知
島田光治	50K 修	横浜		道海敏幸		平塚
松原郁也	56C 修	埼玉		堤 章	53S 修	宇都宮
金井勇	46C 修	川越		二宗光文	46M	愛知
小西憲二	49C 修	埼玉		金子慎之介	学部3年	プレゼンター

